

施策番号	1124		
施策名	だれもがいきいきと働けるまちづくり		
概要	勤労者のニーズに合わせた労働に関する情報の提供や学習機会の提供などを通じ、勤労者の福祉の向上を図り、誰もがいきいきと働けるよう支援を行う。		
担当局	文化市民局	共管局	なし
上位政策	112 すべてのひとがいきいきと活動する		

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

	17年度	18年度	19年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 労働者金融対策（融資制度）件数（件）	a	d	159	158	328	48.2%	d
2 京都労働学校入学者数（人）	c	c	1386	1495	1684	88.8%	b
3 京都労働学校新設・充実講座数（講座）	-	-	-	7	8	87.5%	b
4 -	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	b	c	客観指標総合評価				c

#### 2 市民生活実感評価

設問	だれもがいきいきと働ける場を得る機会がある。						
	回答	17		18		19	
		回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
	a: そう思う	3	0.5%	11	2.1%	15	3.2%
	b: どちらかというと思う	40	7.0%	58	11.1%	52	11.0%
	c: どちらとも言えない	156	37.3%	168	32.1%	133	28.1%
	d: どちらかというと思わない	189	33.0%	165	31.5%	160	33.8%
	e: そう思わない	184	32.2%	122	23.3%	114	24.1%
	有効回答数	572		524		474	
	市民生活実感評価	e		d		d	



\* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

### 3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	17	18	19
客観指標総合評価	b	c	c
市民生活実感評価	e	d	d
総合評価	C	C	C
重み付け		(理由)	
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	<input type="checkbox"/> 市民の実感	市民の実感は、国や府の施策を含めた雇用労働関係行政全般の影響を受けるものであるが、本施策はその一部である勤労者福祉施策であることから、客観指標評価を重視することとする。	

### 4 原因分析・今後の方向性

<p>総合評価は平成18年度から引き続きC評価となった。</p> <p>客観指標評価は、「京都労働学校入学者数」が増加し、新しく設けた指標の「京都労働学校新設・充実講座数」もb評価となったものの、「労働者金融対策（融資制度）件数」が横ばいであったため、昨年度から引き続き客観指標総合評価はc評価となった。</p> <p>今後とも広報活動の充実などにより利用者数の増加に努めるとともに、勤労者のニーズに応じた仕事に役立つ講座を開設するなど、引き続き施策の充実に努める必要がある。</p>
--

#### （参考）この施策実現のための主な事務事業

	事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	労働学校運営	31,110	32,610	現状のまま継続等	文化市民局共同 参画社会推進部 勤労福祉青少年 課
2	勤労者情報システム整備	4,521	4,503	効率化等による見直し	文化市民局共同 参画推進部勤労 福祉青少年課
3	労働者金融対策（融資制度）	253,715	253,715	現状のまま継続等	文化市民局共同 参画社会推進部 勤労福祉青少年 課
4	労働団体助成	10,243	10,243	現状のまま継続等	文化市民局共同 参画社会推進部 勤労福祉青少年 課
5					
6					
7					
8					
9					
10					
合計		299,589	301,071		
うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)		299,589 (0)	301,071 (0)		

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1124	だれもがいきいきと働けるまちづくり					
指標名	労働者金融対策（融資制度）件数（件）						
担当課	勤労福祉青少年課	連絡先	222-3089				
<b>1 指標の説明</b>							
勤労者の生活の安定を図るための低利の融資の新規件数をもって評価							
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>				
勤労者のニーズに応じた低利の融資による支援の状況を示す指標			本市が預託し融資を実行している労働金庫での融資件数				
<b>4 数値</b>							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度	
数値	159	158	1件減	328	預託額に対する制度利用実績額が95%を占めていた年（平成7年度）の新規融資利用件数を目標に設定	48.2%	
	全国順位	中長期目標			備考	-	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	-	-	-			-
<b>5 評価基準</b>			<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
単年度目標に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満			目標達成には相当の努力を要するものの、上回ることは不可能でないため、100%以上の達成をaとし、5段階の等間隔に基準を設定した。		17	18	19
					a	d	d

指標名	京都労働学校入学者数（人）						
担当課	勤労福祉青少年課	連絡先	222-3089				
<b>1 指標の説明</b>							
勤労者福祉に係る講義を実施する京都労働学校への入学者数をもって評価							
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>				
勤労者の教養と自覚を高めるための教育の機会をどのくらい与えられているかを示す指標			本市が（社）京都勤労者学園に運営を委託している京都労働学校の入学者数				
<b>4 数値</b>							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度	
数値	1386	1495	109人増	1684	過去5年間における最高値	88.8%	
	全国順位	中長期目標			備考	-	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	-	-	-			-
<b>5 評価基準</b>			<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
単年度目標に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上100%未満 c：60%以上80%未満 d：40%以上60%未満 e：40%未満			目標達成には相当の努力を要するものの、上回ることは不可能でないため、100%以上の達成をaとし、5段階の等間隔に基準を設定した。 過去5年間における最高値 平成13年度 1,684人		17	18	19
					c	c	b

施策名	1124	だれもがいきいきと働けるまちづくり
-----	------	-------------------

指標名	京都労働学校新設・充実講座数（講座）
-----	--------------------

担当課	勤労福祉青少年課	連絡先	222-3089
-----	----------	-----	----------

### 1 指標の説明

京都労働学校において、新規開設又は内容を充実させた講座の数をもって評価

### 2 指標の意味

勤労者の教養と自覚を高めるための教育の充実を示す指標

### 3 算出方法・出典等

本市が（社）京都勤労者学園に運営を委託している京都労働学校において、新規開設又は内容を充実させた講座数

### 4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	—	7	—	8	前年度開講講座数（17年度：25講座）の30%に当たる講座数	87.5%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値	—	—	—	—	—

備考	—
----	---

### 5 評価基準

新規開設・充実講座数が全体の講座数に占める割合が  
a：30%以上  
b：20%以上30%未満  
c：10%以上20%未満  
d：1%以上10%未満  
e：0%

### 6 基準説明

目標達成には相当の努力を要するものの、上回ることは不可能でないため、目標値以上の達成をa、新規開設・充実講座がなかった場合をeとし、等間隔に基準を設定した。

### 7 評価結果

17	18	19
—	—	b